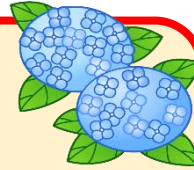


『管理職のビジョンと戦略を支援する学校訪問 第1回訪問』が終了しました。

APを核にした学校経営が2年目の今年度、

さらに一步先へ進んでいます!



新型コロナウイルス感染予防対策によりオンラインでの面談になりました第1回学校訪問ですが、市町村教育委員会や各学校のご理解とご協力により、管内すべての小中学校の校長先生方とのAP面談を終えることができました。ありがとうございました。

オンライン面談にあたっては、通信環境の設定などいろいろとお手数をおかけしましたが、どの学校とも「つながる」ことができましたことを、津山教育事務所としても喜んでいきます。

市町村教育委員会により日程や内容に少々の違いがありましたが、校長先生より今年度のAPについてのご説明をいただき、その後、APの内容について具体的な取組の状況をいろいろと協議させていただきました。これによりAPからだけでは分からない校長先生のビジョンや戦略を教えていただくことができたり、具体的な取組の詳細やその検証の仕方について確認させていただくことができたりし、津山教育事務所としても大変有意義であったと考えています。

今回はお話をうかがうだけでしたが、2学期にはぜひ学校に訪問させていただき、実際に教育活動の様子を参観させていただいたり、先生方と直接お話をさせていただきたいと思っています。

第1回学校訪問（面談）を通して分かりましたAPを核にした学校経営の推進状況をお伝えします。

APを学校力
向上のツール
としてうまく
活用していた
だいています。





【APについて】

- APにまとめる内容の焦点化・重点化が図られている学校が多くなりました。
- 達成目標の指標に客観性・妥当性があるものが多くなりました。
- 重点的取組を3つ以内にしぼったことで、網羅的になっていない学校が多くなりました。
- 取組指標や検証方法が具体的になり、年度内でPDCAサイクルが回せるAPが多くなりました。
- 校長有資格者研修会でAPについての研修を実施したことにより、新任や転任の校長先生も、APを作成し直したり修正したりして自分のものになっている校長先生がほとんどでした。
- 新任や転任の校長先生を中心にご依頼をいただき、提出前に学校経営アドバイザーが助言させていただいた学校もありました。

年度末には、退職・転任の校長先生は次年度の学校経営計画だけでなく、APも作成しておきましょう。

【APに対する学校の取組状況について】

- プロジェクトチームを編成し、APの取組を組織的に推進していくような体制づくりを行っている学校が増えてきました。
- 検証・改善サイクルを回していくために、APの取組の進捗状況を定期的に確認していくようなシステムを構築している学校も増えてきました。
- 「知」に関する項目においては、授業づくりの視点にたった重点的取組をあげている学校が大半でした。特に、中学校においては今年度からの新学習指導要領の本格実施に伴い、授業づくりの必要性が高まってきたように感じられます。
- 若手教員の指導力不足と育成が課題となっている中、OJTチームを機能させようとしたり、取り組むための計画表を作成させたりする工夫をしている学校も見られました。
- GIGAスクール構想に伴い、ICT活用を重点的取組内容に含めている学校が増えました。
- 児童生徒の学習意欲の向上を目標にしている学校やキャリア教育の視点に立った取組を進めている学校も増えてきています。